

には、リンクがあります。は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **シルバーピアーズ**

日付 平成16年8月12日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)
グループホームシルバーピアーズに隣接して建てられており、入居者の状態、性格などに応じて選んで入居する事が出来る。
ホームのリビングには天窓があるが、夏の強い日差しを和らげるためであろう、きれいな布でスクリーンを取り付けるなどの対策がとられており、細かな心遣いが感じられた。
介護度、年齢その他の関係であろうか、非常に落ち着いていてゆったりとした雰囲気ホームである。

入居者が人間らしい人性を最後まで送れるように。という理念の下、終末期にも対応できるよう力をいれており、職員は入居者にしっかりと接している。
寝たきりの入居者に対しても、常に見守りができるように居室を台所から見通しのよい位置にするなど配慮されている。ホーム内には看護師が常勤し、何かあればすぐに対応できる体制がとられている。

職員は、とても明るくて、見守り、声かけなど自然にできています。併設のグループホームとも常に連携し、色々な行事を毎月行い、入居者の状態が悪化しない努力がされている。

改善の余地があると思われる点
特になし

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 「あきらめから希望、笑顔とチームワーク、限りなきプラス思考」をモットーに、職員は、入居者が人間らしい人性を最後まで送れるように努力している。近隣の医師との関係もよく、ホーム内には看護師が常勤するなど、医療面の充実も図られている。 寝たきりの入居者も、常に見守りが出来るように職員は研修を積んでいる。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 職員は、入居者のペースに合わせ、無理強いをしない。性格を理解しており、個々の入居者の性格に合わせた対応をしている。寝たきりの入居者の部屋は、常に見守りが出来る位置にあり、いつでも対応できるように配慮されている。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 入居者の行動を、職員はよく見守っている。居室にいるときは定期的な見守りを最小限にするなど、配慮がなされている。また、入居者の今までの経験をよく理解し、料理をつくっていた入居者には包丁を研いでもらうなど今までの経験を大切にしている。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 日常の申し送りだけでなく、職員の手が空いているときには入居者の情報交換を行い、職員全員が入居者の状態を把握できるように努めている。医師との連携をきちんと取りながら入居者や家族に安心を提供している。			